

第43回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時

平成22年1月22日(金)
14:40～16:10

場所

琉球大学法文学部新棟 2階215教室

話題：「国境の旅：ユーラシアと日本」

発表者：岩下 明裕

(北海道大学スラブ研究センター所長)

島国日本は四方を海に囲まれているが、多くの日本人はその海域が国境ゾーンであることを忘れていいる。また地球儀をよく眺めると、島とはいえ、日本もまたユーラシア大陸の一部であることがわかる。講演者は、およそ15年の間、中国とロシア、中央アジアからインド、パキスタンと国境ゾーンの調査を重ねてきたが、今日、日本の国境問題をユーラシアという広い枠組でとらえなおそうと考えている。21世紀の新たな国際関係をボーダーをキーワードに読み解いてみよう。

発表者プロフィール



岩下 明裕
北海道大学
スラブ研究センター所長

1962年生まれのユーラシア国際政治専攻。冷戦終結後の1990年前半から10年間にわたって中・口国境を現地調査し、境界研究に関する最初の単著『中・口国境 4000キロ』角川選書(2003年)を刊行。『北方領土問題: 4でも0でも、2でもなく』中公新書(2005年)で第6回大佛次郎論壇賞(2006年)および第4回日本学術振興会賞(2007年)を受賞。その他、境界研究に関するものに『国境・誰がこの線を引いたのか：日本とユーラシア』北海道大学出版会。

主催：琉球大学生涯学習教育研究センター
問合先：琉球大学学術国際部地域連携推進課

TEL：098-895-8019

(事前に参加登録する必要はありません)



●今後のフォーラム（予定）●

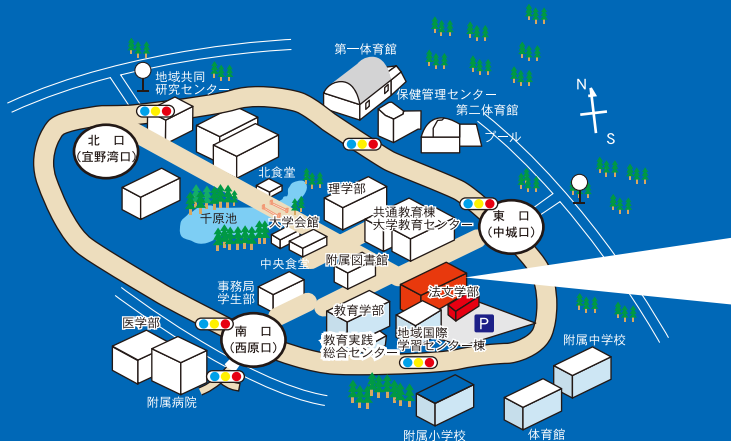
第44回 講師：辻 英之（NPOグリーンウッド代表理事）

話題：「地域に根ざし、暮らしから学ぶ～長野県泰阜村からの炎の発信～(仮)」

日時：2010年2月8日(月) 17：15～18：30

※なお、学外来訪者において臨時フォーラムを開催することがあります。

建物配置図



法文学部新棟2階

